

2006 年愛知同友会「金融問題アンケート調査」の特徴点

<調査要項>

- *調査時 2006年8月末から9月中旬 *対象企業 愛知同友会会員企業
- *調査の方法 インターネットを利用して自計記入を求めた
- *回答企業数 2,393社より250社の回答を得た(回答率10.4%)

以下では、昨年度と比べて今年の特徴である日銀のゼロ金利政策の解除による影響や、今年4月からの信用保証制度の改定を中心に、特徴点のみを紹介する。(事務局・内輪)

(1) 利用金融機関・メインバンク

金融機関の利用状況を見ると、8割弱の企業が金融機関から融資を受けている。(図表1)

図表1 借入れ金融機関の有無

あり	76.0%
なし	24.0%

この融資を受けている金融機関すべてを金融機関別に分けてみると、図表2(複数回答)のように、地銀・第2地銀がもっとも多く59.5%と約6割に達している。第2位の信金も57.4%と5割を超えている。第3位は政府系金融機関で37.4%と昨年と比べて7ポイント増えている。3割をわずかに超えているが、都銀は28.9%と3割には届いていない。取引関係のある金融機関としては、昨年と同様に地銀・第2地銀、信金が2社に1社以上が、政府系は3社にほぼ1社が、都銀は4社に1社が取引関係にあることが示されている。なかでも多数派は、地銀・第2地銀、信金であることがわかる。

図表2 借入れ金融機関(すべて)(MA)

都銀	28.9%
地銀・第2地銀	59.5%
信金	57.4%
信組	3.7%
政府系	37.4%
その他	2.1%

これらを主たる借入れ金融機関、すなわちメインバンク別にまとめたものが図表3である。ここでも、地銀・第2地銀が最も多く37.8%、次の信金が32.1%であるから、この2機関で3分の2を占めることになる。一方、都銀は14.0%と10%台であり、政府系は3割の利用率があるものの、メインバンクとしては10.9%であった。

図表3 主たる借入れ金融機関(メインバンク)

都銀	14.0%
地銀・第2地銀	37.8%
信金	32.1%
信組	2.1%
政府系	10.9%
その他	0.5%

(2) 借入金について

1) 長期借入れ

同友会会員企業の長期借入れ率、すなわちメインバンクから長期融資をうけている割合は76.7% (昨年79.6%) と約8割に達している。今年度の特徴としては、融資期間がやや長期化、それに従い金利が上昇していることである。

借り入れ期間5～6年が35.7% (昨年47.5%)、7～10年32.1% (昨年29.0%) に、借り入れ金利も1.5～2.0未満が21.1% (昨年33.5%)、2.0～2.5未満が17.1% (昨年15.3%)、2.5～3.0未満が19.7% (昨年6.8%) となっている。

日銀ゼロ金利政策の解除の影響があると考えられるが、詳細な分析が必要である。

(3) 金融機関との取引をめぐって

1) 融資の際の提出文書

メインバンクに限らず金融機関から借入れある企業に、融資の際提出を求められた文書類を聞いたものが**図表4(複数回答)**である。昨年と対比し、「4. 社会保険関係の支払証明」が増加している。

図表4(複数回答)

		2006年	2005年
1	決算書	94.7%	95.8%
2	経営計画書(改善書)	13.2%	12.9%
3	税の納付書	33.2%	34.2%
4	社会保険関係の支払証明	11.1%	5.7%
5	その他	4.2%	8.0%

2) 取引金融機関への改善希望

現在取引のある金融機関(メインバンクに限らない)に対して「改善して欲しい項目」をまとめたものが、**図表5(複数回答)**である。全体的には大きな変化はないが、「6. 担当者の知識・対応」への要望がやや強まっている点が、ひとつの特徴といえる。

図表5(複数回答)

		2006年	2005年
1	地理的条件(支店等への距離など)	4.7%	5.1%
2	借入金利	47.9%	50.0%
3	担保条件の緩和	27.4%	34.6%
4	保証人の数	21.1%	32.7%
5	融資決定までのスピード	19.5%	22.0%
6	担当者の知識、対応	27.9%	21.7%
7	振込み料等手数料の額	29.5%	29.9%
8	商品、付加サービスの内容	8.4%	7.9%
9	その他	6.3%	5.9%

3) 格付けの認知度

つぎに、「あなたは取引金融機関（メインバンクに限らない）の自社に対する格付けを知っていますか」という質問に答えたものが図表 6 である。

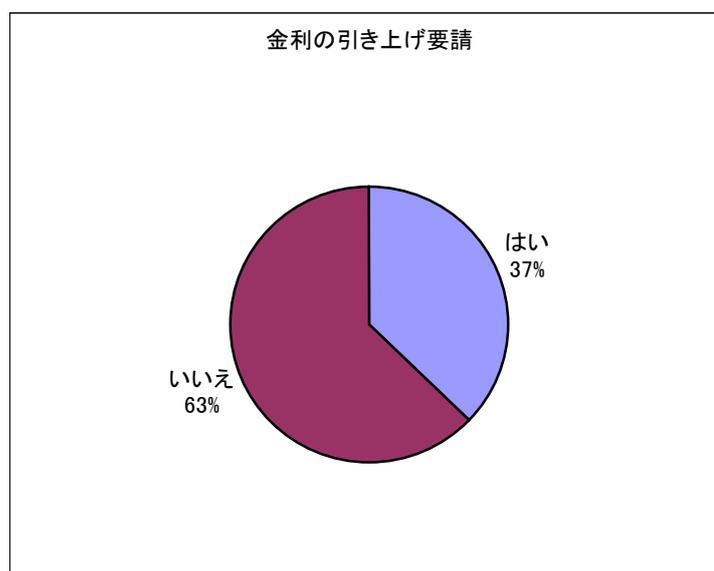
「知っている」は昨年 37.5%から 10ポイント上昇しており、愛知同友会が取り組んでいる「自社の格付けをしろう」という運動が浸透してきたといえるのではないだろうか。

ただ、まだ半数の企業が自社の格付けを「聞いたことはない」ということは、リレーションシップバンキングが実行されていることを考慮してみると、同友会会員企業の、取引金融機関の自社に対する格付けを「知っている」割合は、まだまだ低いと考えられる。

		2006 年	2005 年
1	知っている	47.3%	37.5%
2	聞いても教えてくれなかった	6.9%	7.9%
3	聞いたことはない	45.7%	54.7%

4) 金利の引き上げ

図表 7 は「金融機関からの『金利の引き上げ』の要望があったか」の質問であり、今回始めて調査したものである。約 3 分に 1 の企業に対して要請があったという結果となっている。要因として日銀のゼロ金利政策解除の影響であると考えられるが、金利上昇率等とのあわせて、更に詳細な分析が求められる。



(3) 信用保証制度の改定に関する認識に関して

今年度初めて行った調査であり、結果は以下のとおり。

- 1) 「今年4月より、信用保証料が一律料率から財務内容に応じた9段階の基準料率に改正されたことをご存知ですか」の回答が**図表8**。

図表8

1	はい	31.4%
2	いいえ	68.5%

- 2) 財務諸表について「中小企業の会計に関する指針」の適用状況を公認会計士、税理士により確認できる中小企業は、信用保証料の割引（0.1%）が行われることをご存知ですかの回答が**図表9**。

図表9

1	はい	20.7%
2	いいえ	79.2%

いづれもあまり知られておらず、せつかくの制度改革である、会員への一層の紹介活動等が必要になってきている。

(4) 金融アセスメント法推進運動の認識度

愛知同友会が先駆けとなって全国の同友会が取り組んだ「金融アセスメント法推進運動」の現時点での認知度合いをみたものが**図表10**である。「金融アセスメント法推進運動」を「知っている」割合は、昨年と同様会員で7割にすぎず、3割もの会員企業が「知らない」のである。

図表10

		2006年	2005年
1	知っている	69.1%	70.7%
2	知らない	28.5%	29.3%
3	その他	2.4%	

さらにそれが、運動の一つの成果として、国の政策として「リレーションシップバンキングの機能強化に関するアクションプログラム」「地域密着型金融の機能強化の推進に関するアクションプログラム」の実施や「金融検査マニュアル別冊〔中小企業融資編〕」の発行・実行などに結びついている点に関しては、昨年より率が低下し、5割を来ている現状である(46.9%) (**図表11**)。

図表11

		2006年	2005年
1	知ってる	46.2%	46.9%
2	知らない	51.4%	53.1%
3	その他	2.4%	

会員に関する紹介等、系統的な取り組みが今後も、求められるている。

Q 2 9

「部分保証」の導入や「信用保証範囲の圧縮」が取り出さされていますが、「信用保証制度」（信用保証協会）に関するご意見があれば、お書きください。（文書回答）

●社会的使命を

借り入れの必要な企業には不可欠な機関。その社会的使命を果たす事を第一に考えていただきたい。

信用保証の収縮は反対

[部分保証]の導入や「信用保証範囲の圧縮」はやめてほしい。

これまでどおりでやっていただきたい

新規に会社を起こすと（当社も含め）、プロパー融資では担保がないと借入がおこしにくいので、信用保証制度の充実を。

担保をとりかつ信用保証もとるのは銀行の怠慢だ。

保証協会と銀行は一蓮托生なんですか?それともまったく別で考えればよいのでしょうか?ふに落ちないことが多い。

融資の枠を圧縮でなく緩和は必要では?

●審査の問題

お役人的な書類審査（チェック）をやめてほしい。

やはり担保割れしている状況でも、受注状況でも検討して欲しい

手続き期間の短縮

直接面談交渉をして欲しい

定性を含めて弾力的に判断してほしい

目先の数字ではなく、総合的な経営判断をしてほしい。

●保証人の問題

保証人無しに

連帯保証は、社長個人のみ限定する事を望みます

第三保証人の全面廃止

●保証料の問題

現状通り 100%の保証と保証料の更なる引下げ

手数料が高すぎる

返済をきちんとしている小企業は保証料を「0に近い物にしてほしい」

保証料も返済と同様の分割支払いができるようにしてほしい

Q30

政府系金融機関の整理・統合が予定されていますが、このことに関してどのようにお考えでしょうか？（文書回答）

（1）反対

これ以上統合する必要はない

サービスの低下に不安

ベンチャーが育つ環境ではなくなる

各条件が厳しくなりそう

強固な中小企業向けの融資制度が、他にないので存続が望ましい

現在、特に関わりが無いので考えてはおりませんが、借り入れ等行われている企業に対する影響が心配です。

現在のままが良い

固定金利・経営分析の他社との比較等、政府系金融機関は中小企業の活力に大変重要です。

好ましくない。

政府系には民間で出来ない役割があり（持つべき）安易な統廃合には反対

政府系を整理統合されると大変困る

新事業、新規開業などやる気のある企業への支援が弱くなるのは、大きな問題。

政府系多く残したほうが良いと思う

中小（弱者）切り捨てであると思う

中小企業にとってすぐに借入が出来る？状態なら良いが金融機関にとって良いだけでは疑問です。

中小企業金融は国がその根底を支えるべき有り、整理統合は行うべきでない。

中小企業融資はしっかり充実させてほしい

中小公庫は残して欲しい

統廃合する理由がわからない

無責任で身勝手だと思う。庶民を無視している

利便性が悪くなるのではないか

必要性なし

（2）比較的反対(条件付)

創業率を上げるには少なくとも国金は必要でしょう。

民は効率重視になるが、官は利益度外視の方策が求められるはず。民にしか出来ないこともあるが、官にしか出来ないこともある。

民間とは別の視点で融資できる唯一の金融機関であることから、整理統合はある程度必要とは思いますが、民営化には反対。

もともと拠点が少ないものを、統廃合して大きなメリットがあると思えない。

（3）賛成

時代の流れとして合理化は当然

賛成です。

仕方がないこと、サービスを維持してスリムになればよいと考える。

国が変えるのなら仕方ないです。

諸事情を考えればやむなし

整理統合すべき

整理統合は賛成です。

税金の無駄使いが無くなるので良いことだと思う

早く統合すべきだと思います

当然

当然の事だと思う

統廃合による不利益が発生しないようにしてほしい

特に中小企業向けの政府系金融機関の存続・拡充

良い

良い事

良い事だと思います

(4) 比較的賛成（やむをえない、条件付）

いるものは残す、いらぬものは無くすで結構。国金は絶対必要。

企業育成の貸付を忘れない事

現状、国金程度しか取引がなく、あまりお世話になっていない。中小企業に不便がないようにしてもらいたい。

現状の制度と融資が継続できれば問題はない。

商工中金は残してほしい

国民の理解が得られるようにしてもらいたい

今後どのように統合されるか、情報がほしい

整理・統合は良いが、サービス内容の低下が懸念される。

整理統合は賛成であるが、企業に対しての考え方は寛大に捕らえて頂きたい

整理統合一般はよいが、実質は中小企業金融の切捨てであれば反対

中小企業にとって有利な方向であれば歓迎します。

中小企業に特化して民間でできないことをカバーするのであれば存続の意義はある統合、整理してもいいけど、政府系金融機関とし零細企業はじめ中小企業まで経営状況のいい企業でけでなく全てを考えて欲しい。

統合で経費が削減されて借入の利率が低くなればよい。

統合はかまいませんが今までどおり経営者、会社の本質の部分を見極めていただければ、よいと思います。

役に立たない機関が多すぎる（税金経費の無駄使い）、きちんと返済している企業は面倒な手続きなしで行って欲しい。

中小企業への融資枠の維持してもらいたい

ある程度はやむを得ないと思う

かまわない。

しかたがない

しょうがない

整理・統合についてより、その後の対応等の内容が現在より改善されればなにも問題はありません。

体質改善を望みます

貸し出し枠や条件の緩和と手続き処理の簡素化

(5) その他

政府系金融機関は信用してません

政府の天下りが減らないと効果ない

Q 3 5

「あなたの会社にとって「良い」と言える金融機関の条件とはなんですか？
(文書回答)

①パートナーシップやリレバン、定性評価（目利き）

良きパートナー

零細企業の場合、決算書のみで頼らない融資判断を出来る事
話のできる、理解しあえること。

コミュニケーションが良く図れる事。もちろん、融資金利は低い事

パートナーシップがある

パートナーシップがもてる機関

雨が降ったときに傘を貸してくれる。

雨が降っても逃げ出さず傘をさしてくれる金融機関

雨の日にも傘をさす、企業密着型の金融機関

雨降りに傘を貸さず、晴れている時に無理やり傘を貸すやり方をしない事。

我社のことを考えてアドバイスしてくれる

会社の事業計画（将来に向けての）に耳を傾けてくれる事

会社の内容を理解してくれること

会社側に立って考えてくれる銀行

顔（方針）が見えること

企業の将来を人物本意で見極めることのできる機関

企業を見極め育てようとする銀行

企業を伸ばす意識があること

客の立場で考えてくれる金融機関

逆に信頼、信用されること

共存共栄を前提とした付き合いができる金融機関

強い信頼関係があること

業績内容だけでなく経営姿勢や受注状況、経営者の個人の考えなど考えてくれている金融
機関

業務内容の把握

緊急時に借入が出来る。金利が安い。会社を理解出来ている。

金融コンサルタントである事、決済が敏速

金融面において、適切なアドバイスが出来る、スタッフがいること。

苦境を救うこと

駆け引き無く、何でも話し合い相談が出来る。

経営計画についてとやかく言わないで融資してくれる事

経営計画を知る

経営指針書の評価がある

経営者の姿勢を見て応援してくれる

経営状態が悪い時に助けていただける銀行。長い付き合いをしていただける銀行。

経営診断や営業拓展に協力的

経営相談が出来る金融機関

経営方針を理解戴き、必要な時最善の方法で融資を受ける

決算書だけでなく、ビジョンに投資をする銀行

決算書に頼ることなく経営姿勢を見て相談の出来る
今のところ大丈夫なのですが、もし必要になったときすぐに貸してもらえる機関
細やかなサービスの提供と迅速な対応ができる金融機関
財務面での判断だけではなく経営者の質とその取り組みを判断においてくれる金融機関
事業主＝借入側の立場にたった融資対応をする柔軟性の向上。
自社にあった借り入れ先等提案してくれる
自社の未来を真剣に一緒に考えてくれるところ
自分銀行の利益を優先せず企業の利益も考える
借主の立場になって提案できる金融機関
柔軟に相談に乗ってくれること
将来にわたる適切なアドバイスができる BK
常に企業との連携が取れていて、経営上の相談（会計士さん以外の立場で）が出来る銀行。
信頼できること
新事業や運転資金等必要時に融資額限度の枠の緩和 必要性の理解理解力
親身になっていただける金融機関
親身になってもらえる。
辛らつに経営内容を指摘できる。
組織の存続のために借主など顧客を犠牲にしないこと
相談に乗ってくれる金融機関がよい
相談に対して常に応談するところ
対応のよさ
対等な立場
貸し出し金利等融資に対する金融機関の方向性
貸すのではなく、わが社に投資するという姿勢の機関
担当が誰に代わっても常にわが社のことを考えてくれる。
地域の中小企業を育成する立場に立った金融機関。
地域貢献を具体的に行っている
中小企業と同じ目線の銀行
長く付き合える
当社のニーズに対するレスポンス。
当社の経営状況を把握して資金融資を提供してくれる金融機関
当社の財務内容を考えたアドバイス。同業者等のアドバイス
当社の内容を理解して適切にアドバイスをいただけること
当社の立場を理解している事
同じ立場に立った意見交換がしてもらえるか
弊社の現状を把握し、適切なアドバイスを行ってくれる。
融資はもちろん経営についても率直に意見を言ってくれる

②融資手続き・手数料・機敏性

手続きが簡単
スピード
借りたい時に融資してくれる。
借入れが出来ること
借入金利、手数料の安いこと

手数料が安く将来の融資を好条件で引き受けてくれる

手数料をとらない銀行。営業時間の長い銀行。

即応性

売上げ低下の時にすんなり融資してくれて、売上げ伸びるときに借りろとうるさくないこと。

必要なときに、書類を後回しにしてもすぐ容易ができる

必要なときにすぐ融資してもらえる

必要なときに貸してくれる

必要な時に必要な額の融資

不動産担保の有無ではなく、企業の事業内容で融資を考えたり、事業パートナーをセッティングするなど企業の

普段から企業とコミュニケーションをとっていて、よき経営も含むアドバイザー。単なる

保証協会や担保での融

腹をわって相談できる。

返済条件に十分な相談できること

保証人なしで運転資金を貸してくれる事

保証人なしで借りれる銀行

本当に困った時に貸してくれる

本当に必要な時に必要なだけの確な判断のもと融資して頂ける所

無条件で貸してくれる銀行

融資に際し、回答の早い金融機関、

融資決定までが早いこと

利便性

フットワークの良さ

迅速な合否判定及び適切なアドバイス

迅速に結論出す。

積極的に情報提供してくれる機関

③情報提供・経営アドバイス

きめ細かい情報サービスができること

きめ細かなサービスと対応の速さ

ビジネスマッチング

情報や知識をもっている営業マン（上司に信頼もある）

情報提供

情報提供のできる金融機関

情報提供力

迅速対応

正確なアドバイスをしてくれる

正当な評価を説明して付き合える相手

先取りした金融関係の情報を出してくれる（実際には、会社法の問題や税制の改悪などなどを教えている状態）

役に立つ情報をもたらしてくれること

有益な情報を提供してくれる。

有用な情報提供

④金利・保証問題

安い金利で即決融資

安い金利で貸してくれるところ。

安い貸し出し金利と情報提供能力

安くいつでも貸してくれる事

お金を借りるのに協力してくれる金融機関

金利が安い

金利が安い

金利が安い 経営指導が出来る

金利が安く、すぐ融資してくれる所、業務へり理解

金利が安くて、事務処理が早い

金利が低い、担保を取らない、保証人を求めない

金利が低い、無担保、催促なしのある時払い

金利とスピード

金利を安く自由に貸してくれる銀行

低金利

長期固定低金利でごちゃごちゃいわず貸してくれる銀行

低金利

低金利で無担保で貸してくれる

保証人が自分のみ

借り入れ、返済の自由度が高い。

コンサルタント融資ができる金融機関

コンプライアンスの徹底度

ただ単にお金を貸し出すのではなく、活かしたお金の使い方を提案してくる金融機関

⑤担当者の問題

レスポンス、理解力

銀行の渉外担当者のレベルが高い銀行

経営情報を聞ける担当者

⑥その他

業界の予測が出来る

投資信託など新しい商品を無理に進めないこと。

儲け主義の金貸し、子どもの使いの担当でなく、金融機関の果たす役割を理解している。